



久賀高校同窓会報特集号

発行責任者；久賀高校同窓会 住所 周防大島町大字久賀2657 携帯電話 090-7994-7907



—熱き思いを結集しよう—

同窓会長 小原 勇

久賀高校・安下庄高校

統合についての基本方針

一、周防大島高校久賀校舎福祉科のあり方に関しては、継続存置の運動を貫くことです。これは二十数年前、将来、島は少子高齢化により高校がなくなることを心配し、全県、全国から入学できる学科（福祉科）の新設を建白した久賀高校事務長（故）藤本教治氏、それを後押しした（故）岡村友三郎県教育委員長、（故）松永副知事、浜本研一県教育次長（いずれも当時の官職）の努力を抜きにして語ることはできないからです。同窓会や地域の要望を汲み取り、設立に尽力され、礎を築かれた先人の名譽のためにも福祉の證は消してはなりません。

また、地域の皆さまや同窓生は、この功績を検証し忘れてはならない事実でもあります。
二、本部や支部の活動状況を、全国の会員に周知できるようにする為、会報の充実を図り、第一弾としてホームページを今年二月二十四日に開設いたしました。運営等についての意見ご要望がありましたらご提言ください。

三、久賀高校の伝統である野球部の発展や福祉科支援することにより、全国から視察に来るような学制（日本一の福祉科）実現のため、同窓会や支援する会、老人クラブが一体となって取り組んでいます。子や孫に希望と夢を与えられるよう熱き思いを結集しようではありませんか！ 以上三点を重点に活動を進めて参りますので、会員皆さまの絶大なるご支援をお願い申し上げます。

岡本映画監督プロフィール

岡本明久氏は、周防大島町三浦出身。久賀高校卒業後、中央大学法学部に進学、その後、映画の世界に飛び込みました。主な監督作品として「人間の翼、最後のキャッチボール」「暴力教室」松田優作主演、「男組 少年刑務所」館ひろし主演などがあります。現在はシネマ・クラフト21に所属し、活躍されています。

「KUKA」の絆を結ぶ 8期卒 映画監督 岡本明久
我れらが母校・山口県立久賀高等学校は、一昨年、創立八十九周年を迎えました。その年は新生「周防大島高等学校」に統合継承された年でもあります。しかし、そこで母校は歴史の幕を閉じた訳ではありません。時代に先駆けて平成4年に創立された久賀校舎「福祉科」は現在、全国でもトップレベルの施設と指導スタッフを誇り、県内外の注目を集め、福祉の分野を担う優れた人材を育てています。

甲子園に出場した硬式野球部、全国高校インターハイで活躍したアーチェリー部など、スポーツの分野でも存分に若い力を発揮しています。もとより島内の強い希望と熱意によって大正八年（一九一九）に創立された母校の歴史は現在も脈々と受け継がれているのです。戦前は母たちの学び舎として、戦後新制高校発足時には県下でもトップをきって「男女共学制」を実施しました。八十九年の歴史と伝統を支えてきたのは、教職員の皆さんの熱心な指導であり、そこに学んだ学生たちの可能性です。そして、忘れてならないのは母校を卒業した同窓生の力なのです。創立八十九周年記念映画「永劫燦たる光明あれ」と「福祉の星たち」は、母校の歴史をひもときつつ、明日の母校をみつめ、未来志向でつくりました。共にスクリーンを観ながら、あの日、あの時、久賀に学んだ青春時代を心に甦らせて、校歌を声高らかに歌い、母校への熱い思いを迸らせてください。わが母校・久賀高等学校は二〇一九年には創立百周年を迎えます。今、一万一千人同窓生の思いを新たに、われらが誇り「KUKA」の絆をさらに確りと結びたい、と心から願っています。われらが母校、久賀高等学校

タイトルの「KUKA」は平成11年、夏の甲子園大会に出場した久賀高ナインのユニホームに躍動した栄光の四文字です。